

平成23年度 第1回経営工学教育FD/ICT活用研究委員会 議事概要

- I. 日時： 平成23年9月2日（金）10：30～12：30
- II. 場所： 私立大学情報教育協会 事務局 会議室
- III. 出席者： 渡邊委員長，玉木委員，細野委員，後藤委員，水野委員
（事務局）井端事務局長，森下主幹，野本職員

IV. 議事概要

1. 事務局からの説明

はじめに，事務局より以下の説明があった。

- ・学士力実現のための分野別教育改善モデルについて中間まとめ案を作成し，アンケート調査を行う予定である。中間まとめ案は，各分野で書式を統一し，2頁程度にまとめることとする。
- ・アンケートの狙いは5年先の新しい授業のモデルをたずねることである。理想の授業を掲げ，いろいろな角度で思い切った提案をしてほしい。中間まとめ案には基本的な考え方のみ記述されていればよい。
- ・本日，基本的な考え方を固めたい。その後，9月中旬にアンケートを実施し，これを受けて最終案を作成し，10月の理事会に諮る予定である。

2. 中間まとめ案の検討

- ・これまでに，「到達目標2到達度⑤の授業改善モデル」と「到達目標3到達度③の授業改善モデル」の2つのモデルについて中間まとめ案（資料3，資料4）を作成してきている。ただし，現状の2案はかなり現実的な話になっており，これらを理想の授業モデル案にする必要があることを確認した。
- ・2つの授業改善モデルに共通する問題認識について議論した。その中で，企業や組織体の活動について学生も教員も現場を知らないという現実が問題であるとの認識に至った。対象をモデル化しすぎること，テクニックに走りがちであるということが問題である。（土木工学分野でも同様の問題認識を持っているとのこと。）このような問題認識を踏まえて，総合演習を作り上げることと，それに向けて授業科目の再設計を提言するような内容とすることとなった。
- ・「到達目標2到達度⑤の授業改善モデル（中間まとめ案）」については，例えば，現場見学，インターンシップ，自分で作ってみたもの等をベースに，現実の工場でやるとしたらどうするのかに挑戦させるような総合演習とする方向で修正することになった。すなわち，工場を作り上げるような総合演習であり，そのベースに，I E，作業設計，工程設計などを位置づけるものである。
- ・「到達目標3到達度③の授業改善モデル（中間まとめ案）」については，管理技術（QC，ORなど）の統合化の総合演習とする方向で修正することになった。総合的な視点・企業経営の視点（ひと，もの，金，情報）を重視するものとし，グローバルの視点（生産拠点選定など）も盛り込む方向とする。
- ・狙いのところで，もの作りに絞り込みすぎないように全般的に受け取れるように注意してほしい。

いとの意見があった（「一例として、もの作り，IEなど・・・」という記述にする）。また，目標をどのように評価するのかを考えておく必要があるとの意見があった。これについて，有識者による評価あるいは資格試験による評価が考えられるとの意見があった。

- ・本日の検討内容を踏まえて2案を修正し，来週中にメールで各委員から意見を募ることになった。

V. 次回の開催日程

日時： 平成23年10月1日(土) 10時30分～12時30分

場所： 私立大学情報教育協会 事務局 会議室

- ・委員会は中止とし、メールにて中間まとめ案を検討した。

以 上